



製品安全データシート

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
作成 平成21年11月30日

化学物質等のコード : 0325-2232

化学物質等の名称 : 3-クロロフェノール (m-クロロフェノール)

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 急性毒性物質
危険性 : 引火点は高いが、可燃性がある。
有害性 : 皮膚や眼に付着すると、皮膚や眼を刺激し、炎症を起こす
蒸気や粉塵を吸入すると、鼻、のど、気管が刺激されて中
枢神経に影響を与え、咳、呼吸困難、肺水腫などを起こす
燃焼により有害な塩化水素のガスが発生する。
環境影響 : データなし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品
化学名 : m-クロロフェノール
成分及び含有量 : m-クロロフェノール 97.0%以上
化学式又は構造式: ClC₆H₄OH
官報公示整理番号 化審法 : 3-895
安衛法 : 公表
CAS No. : 108-43-0
国連分類 : クラス6.1(毒物)等級
国連番号 : 2020

4.応急処置

目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
皮膚に付いた場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
吸入した場合 : 直ちに患者を毛布などにくるんで安静にさせ、新鮮な空気の場所に移す。鼻をかませ、うがいをさせる。
呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。速やかに医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合 : 水または食塩水を飲ませて吐かせる。速やかに医師の処置を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 :
(周辺火災の場合) 速やかに容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する
(着火した場合) 初期の火災には、水、粉末、二酸化炭素を用いる。
更に必要があれば、泡消火器を用いる。
消火作業の際には必ず保護具を着用する。
消火剤 : 粉末、二酸化炭素、泡、水

6.漏出時の措置

飛散した場所の周辺にはロ-プを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。飛散したものは、できるだけ掃き集めて、空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
この場合、濃厚な排液が河川などに排出されないように注意する。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 皮膚に付いたり、蒸気や粉塵を吸入しないように適切な保護具を着用する。
保管 : 密栓して冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない
許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 設定されていない
ACGIH : 設定されていない
設備対策 : 粉塵の発生する場所はできるだけ密閉化するか、または局所排気装置を設置する。
自己反応性・爆発性 : 蒸気は空気と爆発性の混合気体を生成する。
取扱所の近くに洗眼および身体洗浄用の設備を設ける。
保護具 : 保護手袋、保護眼鏡、防塵マスクを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等 : 濃赤橙色固体または液体、不快臭
沸点 : 214
融点 : 33
揮発性 : 無
蒸気圧 : 1.1 hPa (44)
蒸気密度 : 4.4
比重 : 1.25
溶解度 水 : 2.6% (20)
その他 : アセトン、ベンゼン、トルエン、アルコール類などに可溶

10. 安定性及び反応性

引火点 : 120 爆発限界 上限 データなし
下限 データなし
発火点 : 415
可燃性 : 引火点は高いが、可燃性がある。
自己反応性・爆発性 : 蒸気は空気と爆発性の混合気体を生成する。
安定性・反応性 : 通常の使用においては安定である。

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

刺激性(皮膚、眼) : 皮膚や眼を刺激し、炎症を起こすことがある。
感作性 : データなし
急性毒性(50%致死量等を含む) :
蒸気や粉塵を吸入すると、鼻、のどが刺激され、咳、呼吸困難、などを起こす。
マウス 経口 LD50 = 570mg/kg
イヌ 経口 LD50 = 570mg/kg
ラット 腹腔内注射 LD50 = 355mg/kg
ラット 皮下注射 LD50 = 1,390mg/kg
亜急性毒性 : データなし
慢性毒性 : データなし
がん原性 : データなし
変異原性 : データなし
生殖毒性 : データなし
催奇形性 : データなし

12. 環境影響情報

分解性 : 0% by BOD
蓄積性 : 濃縮性(倍率)コイ 5.1 - 10倍(40 µg/l)
コイ 7 - 16倍(4 µg/l)
魚毒性 : ヒメダカ LC50/48H 3.8mg/l

13. 廃棄上の注意

エタノールなどの可燃性溶剤と混合してアフターバーナーおよびスクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

国連分類番号 : クラス 6.1(毒物) PG III
国連番号 : 2020 (クロロフェノール類(固体))

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 「名称等を通知すべき有害物」 No.154
化学物質管理促進法(PRTR法) : 非該当
消防法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当

危 規 則 : 毒物類
航 空 法 : 毒物

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共立出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。